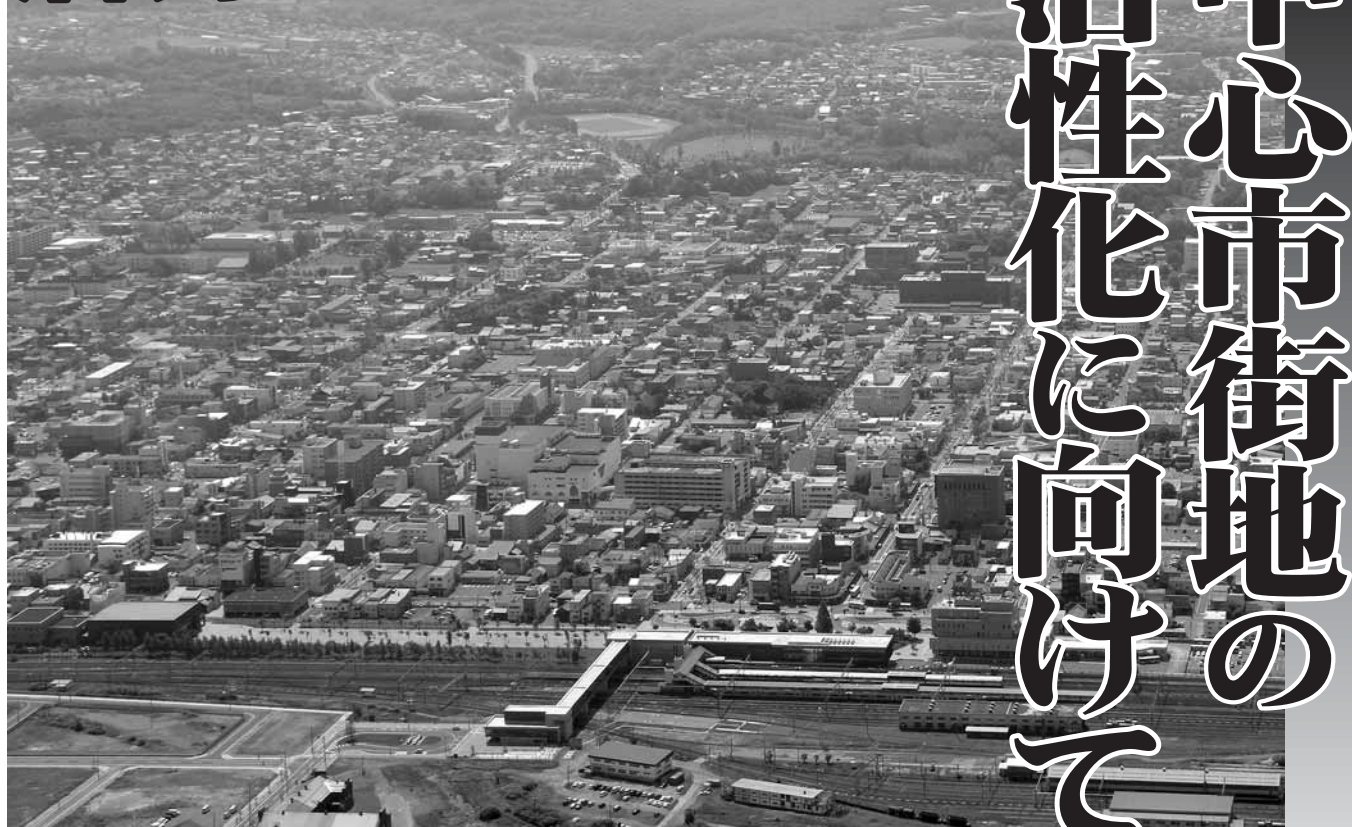


# 活力あるまちづくり

# 中心市街地の活性化に向けて



市は、平成20年11月、全道で5番目に国から中心市街地活性化基本計画(計画期間 平成25年3月までの4年5か月)の認定を受け、様々な活性化事業に取り組んでいます。

この基本計画には、現在、76事業を掲げていますが、そのうちの8割程度の事業が完了または実施中であり、事業は順調に進んでいます。

これらの事業により整備された施設や店舗は、市民の皆さんが利用することで、この中心市街地の活性化の成果が表れてくると考えています。

また、この基本計画では、中心市街地の居住人口、歩行者通行量、従業員数の3つの数値を設定しています。

今月号では、期間の中間年度である平成22年度の目標の達成状況と今後の取り組みをお知らせします。

## 中心市街地居住者人口

旧ナカノタナ跡地(4西3)で、国の出資と補助金を受けて賃貸住宅が整備され、また、平成17年度に創設した賃貸住宅の建設費の一部を補助する市の制度を活用した賃貸住宅が増え、まちなか居住が進んできています。

今後は、駅北地区土地区画整理事業地区内の土地利用を促進するとともに、民間事業者による住宅供給を

## ◎数値目標の達成状況◎

	基準値	目標値 (平成24年度)	実績値 (平成22年度)
居住者人口	4,740人 (平成19年度)	5,000人	4,653人
歩行者通行量 (平日)	5,356人 (平成19年度)	5,700人	3,895人
従業者数	8,840人 (平成18年度)	8,900人	8,177人

平成21年3月31日に西友岩見沢店閉店。

## 中心市街地歩行者通行量(平日)

支援してまちなか居住を進め、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

グッドデザイン大賞を受賞した複合駅舎や有明連絡歩道の完成、家賃の引き下げに協力した空き店舗を対象に、改装費の補助を行うコンバーション事業による空き店舗の減少など、回遊はしやすくなりましたが、歩行者通行量は低迷しています。これは、ポルタビルのキーテナントであった西友岩見沢店の閉店の影響が大きいと思われます。

今後は、ポルタビル再生事業を実施するとともに、空き店舗や空き地の解消と魅力的な店舗などの創出を図ることで、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

### 中心市街地従業者数

事業所の撤退や郊外移転、従業員の新規採用が少なくなっていることから、中心市街地の従業者数は減少しています。

◆ ◆  
今後は、データセンター等整備事業の実施、市の融資制度であるまちづくり特別資金の融資対象の拡大などにより、事業所のまちなか立地を進め、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

◆ ◆  
中心市街地では、平成22年度に、ナカノタナ が完成し、ラルズ跡地の整備が完了したほか、市が支援したコンバージョン事業により、16店舗が新しく生まれるなど、一定の成果を挙げていますが、今後、中心市街地の活性化を図る上で、ポルタビルの再生は不可欠です。

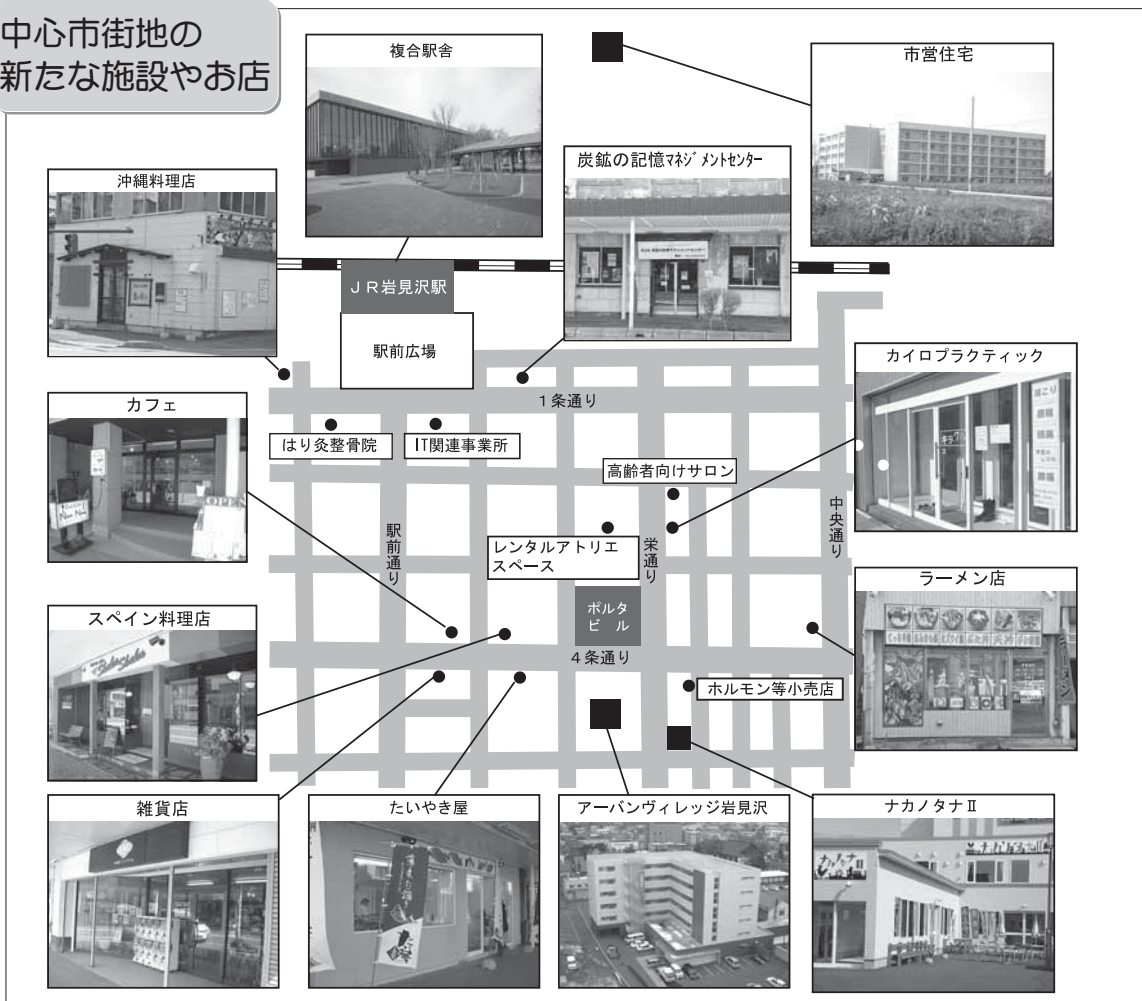
ポルタビルは、まちなかに賑わいや交流を生み出す核施設であることから、市はポルタビルを購入して、商業だけではなく、市民の皆さんの交流施設として官民が一体となって

ポルタビルの再生を図っていきます。今後も、まちづくりの中心的役割を担っている、岩見沢商工会議所、

(株)振興いわみざわ、岩見沢市商店街振興組合連合会、岩見沢市町会連合会など20団体で構成されている、中心市街地活性化協議会をはじめとし

て、市民の皆さん、事業者の皆さんと力を合せて、中心市街地の活性化を進めていきます。問合先 市中心市街地活性化推進室

### 中心市街地の新たな施設やお店



### 中心市街地に関する調査へのご協力を！

市は、中心市街地の居住状況や土地建物の利用状況、ポルタビルの交流空間の利用方法など、今後の事業展開に役立たせるために、市民の皆さんを対象とした調査を7月から9月まで行ないます。

中心市街地の住宅は、全戸対象となり、調査員が訪問し、アンケートの依頼と現地調査を行ないます。また、中心市街地以外は無作為に抽出した3,000戸を対象に、アンケート用紙を送付します。

アンケートの回答と調査員による調査へのご協力をお願いします。

調査員は、市から委託された調査を行なっていることを記載した証明書を必ず携帯しています。

問合先 市中心市街地活性化推進室